



行方歴史探検 輝く行方の先人たち 4



江戸の花形狂歌師は手賀生まれ ～国字垣歌志久～



国字垣歌志久
「常陸常総の狂歌」より

町人文化（化政文化）が花開いた江戸の文化・文政期（1804～1830年）、上方（※1）で生まれた庶民の文芸「狂歌」が大流行しました。中でも国字垣歌志久（俳諧堂）は、江戸の花形狂歌師でした。本名を手賀弥太郎常幹（現行方市手賀（※2）出身）と言い、麻生藩新庄氏に仕える有能な武士でした。そのため、優美で繊細な作風を旨とする狂歌堂（鹿都部真顔）派に属し、卑俗な言葉で俗情を詠った六樹園（宿屋飯盛）派と対立していました。「櫛げずる柳の髪に梅が香をつけてとかしてむすぶ春風」など、国字垣は狂歌を俳諧歌（※3）と捉えた作風で、麻生地区を中心に国字垣連を設立し、隣接する潮来地域など霞ヶ浦北岸一帯に狂歌を広め、地方文化の発展に貢献しました。

- ※1 大阪周辺地域
- ※2 当時の手賀地区は、麻生藩領
- ※3 ユーモアと滑稽を交えた五七五七七調の和歌

※常陸下総の狂歌（1980 柳生四郎 著）、玉造史叢 32 集（1991 玉造町郷土文化研究会）、麻生の文化第 22 号（1991 麻生町郷土文化研究会）、江戸狂歌壇史の研究（2011 石川了 著）を参考にしています。

【問】生涯学習課（北浦庁舎）
☎0291-35-2111



まちの
広報紙

スマホでもっと楽しめる！ 市報行方デジタルブック！

音声読み上げ、スライドショー、10言語の多言語翻訳機能が搭載された無料のスマートフォン向けアプリです。紙の情報を電子データで配信しています。

Android



行方市のコンテンツは
こちら▶



iPhone



編集後記

4年に一度の祭典であるワールドカップが開催されています。2002年の日韓大会の際には、会場のスマン△周辺に世界中から多くの方が来て、とても盛り上がり、その光景を今でも覚えています。いつかまた、あの熱気が日本で味わえる日がくることを願っています。（樹）特集で取り上げた「文化財を巡るツアー」に参加する機会に恵まれました。歴史の中で守り伝えられてきた文化財の重みや尊さをより深く実感することができました。皆さんも、静かに存在感を示す市の文化財に今夏ゆつくりと、そしてたゆみりと触れてみませんか。（陽）

市報等に掲載する 写真を募集します

市内で撮った写真をお寄せください。ご応募いただいた写真を使用する際には、こちらからご連絡します。
【お問い合わせ】
魅力発信課（麻生庁舎）

かわいい笑顔あつまれ！



なけなしの1本歯

ゆうご
友護 くん 0歳

「市報行方」の感想をお聞かせください

いただいた感想は、より良い市報づくりの参考にさせていただきます。感想は、下記のQRコードか、はがきやFAX等でお寄せください。ご協力よろしくお願いします。

【お問い合わせ】

魅力発信課（麻生庁舎）

☎0299-72-0811

FAX 0299-72-1537



「かわいい笑顔」募集中！

小学校入学前までのお子さんの写真を募集しています。詳細は、こちらのQRコードから▶



「市報行方」は、各地区の公共施設や商業施設等に配置しています。

詳細は、こちらのQRコードから▶

【市報配布に関するお問い合わせ】

総務課（麻生庁舎）☎0299-72-0811



行方市の人口



総数 30,537人 (-45)
男 15,498人 (-13)
女 15,039人 (-32)
世帯数 13,177世帯 (+5)

令和8年6月1日現在の住民基本台帳人口

※外国人住民を含む () は前月との比較

行方市民憲章 やさしい自然 かがやく人 わたしたちがつくる 魅力あるまち、行方市



市の花 ヤマユリ（山百合）



市の木 イチョウ（銀杏）



市の鳥 シラサギ（白鷺）